

総合的な森林づくりにつながるか

白鷹町森林とつながる暮らしビジョン及び白鷹町森林整備計画の策定について説明を受けた。

【ビジョンの概要】

森林生産分野から木材利用分野、食や文化の継承や人材育成、教育といった総合的な分野までを包括した、森林・木材に関わる総合的な計画。

【森林整備計画】

ビジョンの川上部分（森林生産分野）を補完する計画。令和4年4月から10力年の計画。
◇主な変更点
・人工造林の標準植栽本数の変更
・「特に効率的に施業が可能な森林区域」の新設
・制限林の区域設定の見直し



質疑

緑の少年団

委員 緑の少年団は東根小学校1校だけ。広げる考えはないか。

当局 他校でも、木工など木に親しむ授業を実施しているが、各学校や教育委員会とも調整したい。

町長 指導者が結構大変である。時間をいただきたい。

境界明確化の目標

委員 境界明確化の数値目標は。

当局 現在は鷹山地区で約50ヘクタールを目標に実施している。航空レーザー測量も計画している。

区域設定の基準

委員 どういう基準で生産林の区域が選ばれたのか。

当局 道路条件や樹種の状況で検討し、計画している。

ブランド化

委員 杉材もある程度ブランド化しないと魅力が出てこない。川下（木材利用分野）の経営をどう考えるか。

町長 ブランド化は大切だが、短期間でできるものではない。木材大手の企業と手を組み、乾燥、加工、販売する会社ができる予定であり、どう付加価値を高めていくかが大切になってくる。



森林に親しむ緑の少年団

民間の力をどう活用できるか

サウンディング型市場調査とふるさと森林公園試掘調査の状況について説明を受けた。

【調査後の考察】

① 観光施設は、民間事業者へ指定管理移行の可能性はある。

② 現状では市場性は低い。民間の力を活用し魅力や集客力を高めることは可能。

③ 再整備は最低限の投資でよく、コンテンツやサービスにも投資する必要がある。

④ インパクトのあるコンテンツづくりや強化が必要。

⑤ 投資回収を考えれば、5年〜10年の指定管理期間は必要。

【今後の方向性】
① 民間事業者への公募による指定管理の移行を図る。

② 各団体の存在意義、各施設の機能に留意

し、将来を見据え対応を決定する。

【試掘調査の結果】

水温14・9度、成分も基準値以下であり温泉ではなかった。今後は再整備と併せて検討

質疑

今後のスケジュール

委員 どのようなスケジュールで進むのか。

運営事業者は どう関わるのか。

当局 公募要件の設定も重要である。令和4年度中に公募し、新たな指定管理者と協議したい。

アルカディア財団の役割

委員 指定管理者の移行後、アルカディア財団の役割はどうなるのか。

町長 議会にも相談し、一緒に取り組んでいきたい。

町民の理解

委員 アルカディア財団の中身や町との関係について、町民に理解を得られるように進めるべきである。

町長 議会にも相談し、一緒に取り組んでいきたい。

